



登場人物

鍋島 叶（み）
要の腹違いの兄
常ノ葉いすみを
女の子と思って声をかけ
付き合い始めた過去がある
常ノ葉は男子だと気づくが
家庭の事情で転居して離れる



常ノ葉いすみ（み）
叶の元カレ？
最終的には要和
付き合っている



鍋島 要（み）
三日違いで生まれた叶の弟
母親が双子という複雑な
環境に生まれる
元ブラコンで女子に興味がない



滝沢 哲也（み）
叶と要の父親の義弟

滝沢家の養子
要和叶とは十歳違い

その元カレに会えたら
こんなことしたいのか？

僕は純愛で
良いんだ

セックスは
僕にはさほど
重要じゃないみたいだ

はあ

はあ





・・・そりゃ
僕はあなたしか
知らないし

僕にとって
哲也さんは可愛い弟を
犯す悪癖のある兄

どうせ抱かれるなら
気持ちいい方がいい



あなたは
僕の大事な要を
僕の許に連れてきて
くれたのだから

だって……



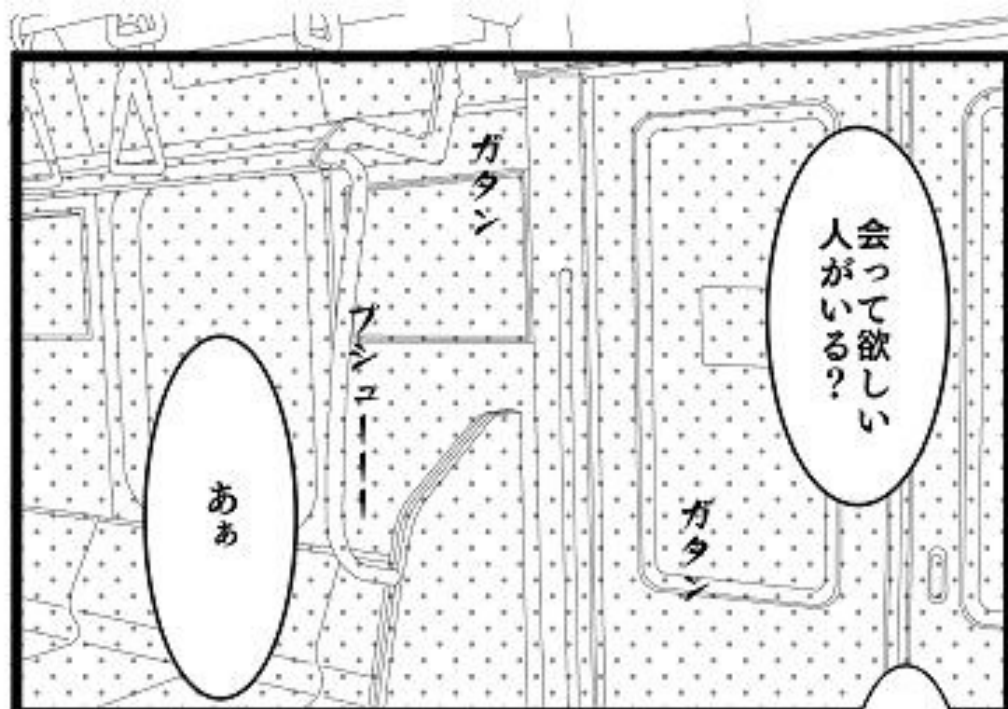
あなたが飽きるまで
付き合っただけあげるよ

じゃあ
俺の心が
満たされるまで
付き合ってくれよ

きっと
いつまでたっても
この底無しの想いが

満たされる日は
来ないだろうから





会って欲しい
人がいる？

ああ



俺と叶の
恩人なんだ

とこちゃんに
会いたって



ふあああ



ガタン

ガタン

ガタン

祖父の家で
叶と俺の世話を
焼いてくれたんだ
人がいたんだ

その人がいたから
叶と暮らせたし
後継問題も
すんなり解決したし

俺も進みたい道を
自由に歩ける
ようになった

要！

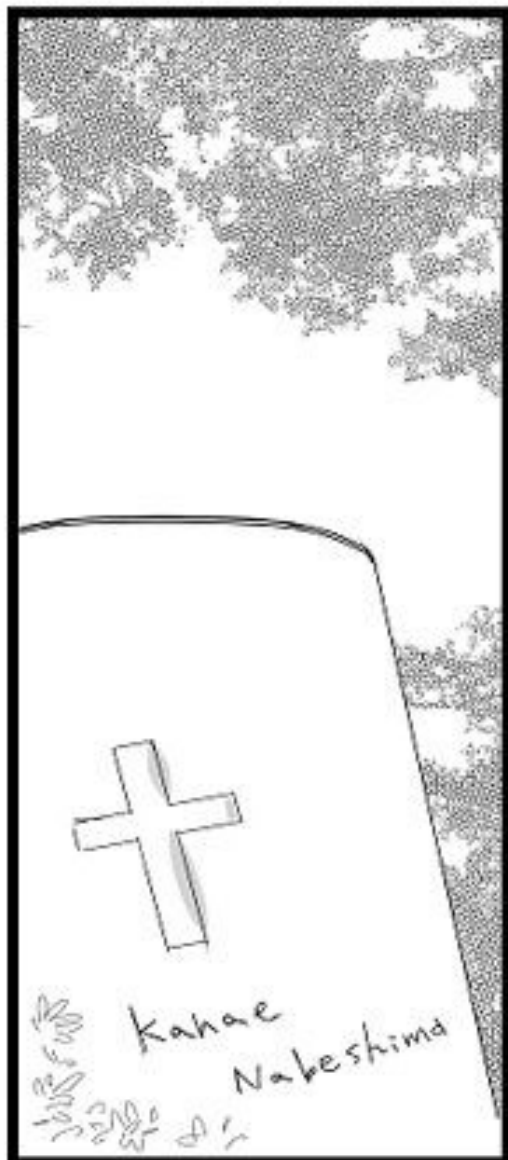
哲也さん！

駅









君が要や叶と
出会ってくれて
良かった

・・・要をよろしく









要坊
明るくなったな

要は小動物が好きだし
なんとなくわかるけど

叶があんなタイプを
好きだったなんて
意外だったな

さらりと毒舌です。この人。



叶
・・・

「とこちゃん」と過ごした
わずかな時間は

叶にとって
最後の愛しい平穏な時間
だったんだろう

だから俺の
この胸の痛みは
きっと生涯消えない



七年前

オヤジ！
マジなんですか！

たきざわ てつや
滝沢 哲也

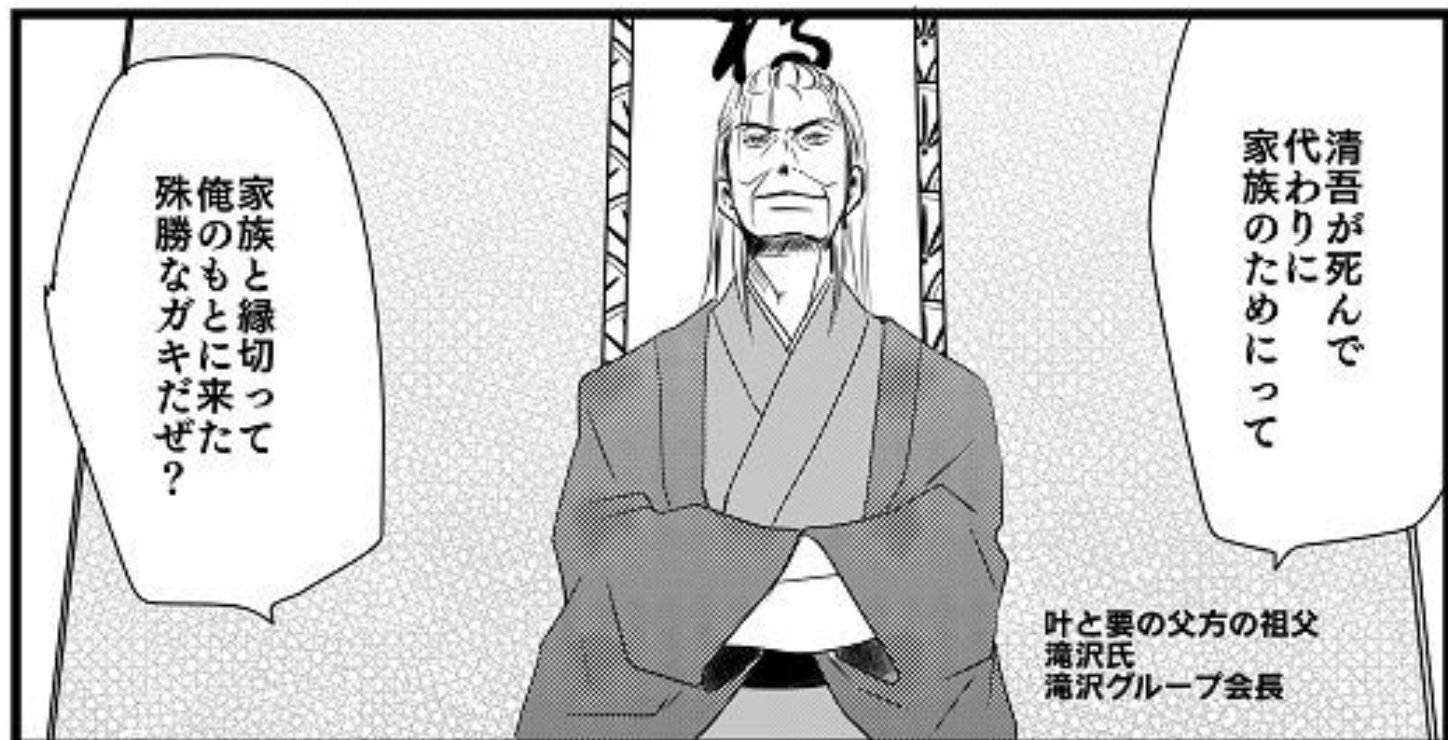
そのガキが
清吾坊ちゃんの
隠し種？

逃げた
父親の落とし前を
変わりにつけて
もらおうと思ってな

俺の清吾を
たぶらかした女の
血を半分引いてるのは
憎らしいが

なべしま かなえ
鍋島 叶





清吾が死んで
代わりに
家族のためにって

家族と縁切って
俺のもとに来た
殊勝なガキだぜ？

叶と要の父方の祖父
滝沢氏
滝沢グループ会長



哲也も納得してんだ
俺のやることに
文句ある奴あいるか？

ニヤッ



家族に嫌がらせと
脅迫をされたから
泣く泣く来たん
だけ？

要・・・
どうしてるかな











あなたが爺しので
俺の家族の安全を
保証できるんなら

出世払いで
利子付けて
借りてやる



ドキン



ガキのくせに好きな顔してやがる





勝田
てめえか？

俺の顔に
泥塗りやがったのは

俺は跡目は
哲也さんに……！



金輪際
あの方きに
手えだしたら
お前をぶっ殺す



あれ以来
食事にも虫が入ってないし
風呂もお湯になった

あなたが
取りなして
くれたんだろ？

ありがとう



後継ぎになる
予定だったんだろ？

僕が
邪魔じゃないの？



もっとも僕は
ジジイがくたばったら
此処から脱出する
予定だけどさ

オヤジが
おっ死んだ時やア
お前は立派な
跡目になってるよ

悪い奴ほど
長生きだっていうだろ？

あなたは

僕の父さんの
代わりを
してるんだろ

悔しくないの？

オヤジが
孤児だったオレを
育てたのは

家出息子を
取り戻し
その補佐に
するつもりだった
からだ

俺なんて
ハナから
跡目とか
眼中ねえよ
あの人は

あなた
人望が厚いの？



悪くねえ

それにしても
勉強ばっかさせるね

所詮や○ざの
跡取りだろ？

うちは
や○ざじゃねえ
グループ会社だ

…たくっ

チュー坊が
難関大卒の
俺の課題簡単
にこなしやがって
天才か！

可愛くねえ

だから
僕はジジイの
後継ぎなんか
しないよ

出来過ぎる頭が
もったいないだろ？



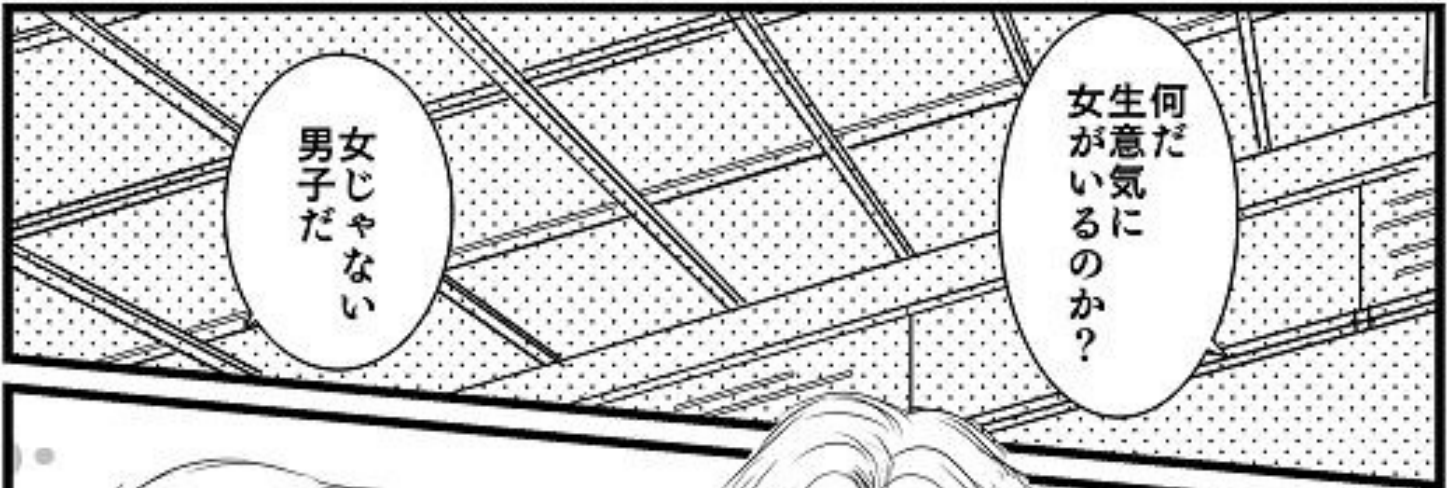
もしも解放されたら
どうしたいんだ？



・・・まずは
好きな子に
会いに行く



何だ
生意気に
女がいるのか？



女じゃない
男子だ







ホント
綺麗な
顔してやがる

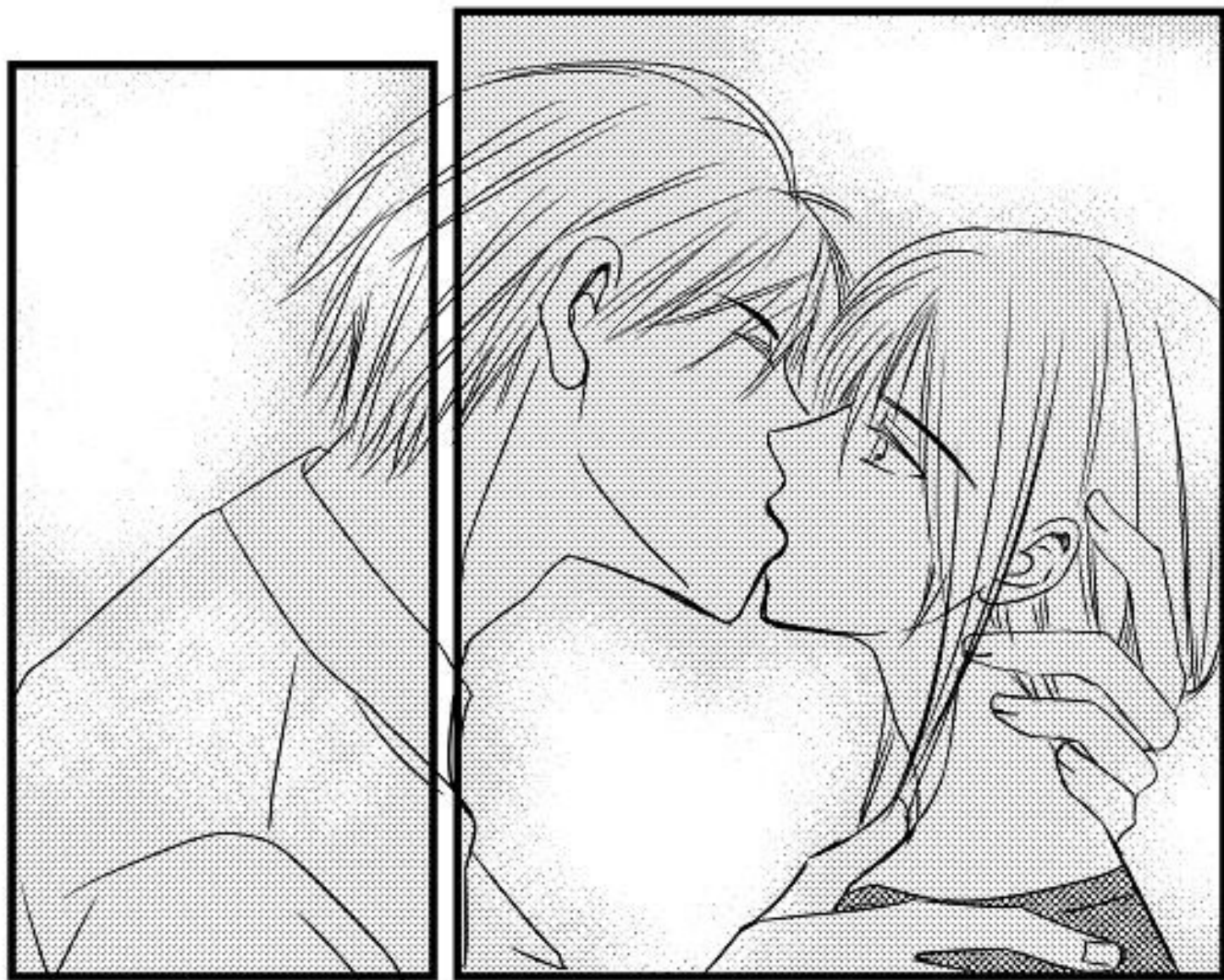
ニニ

クイッ

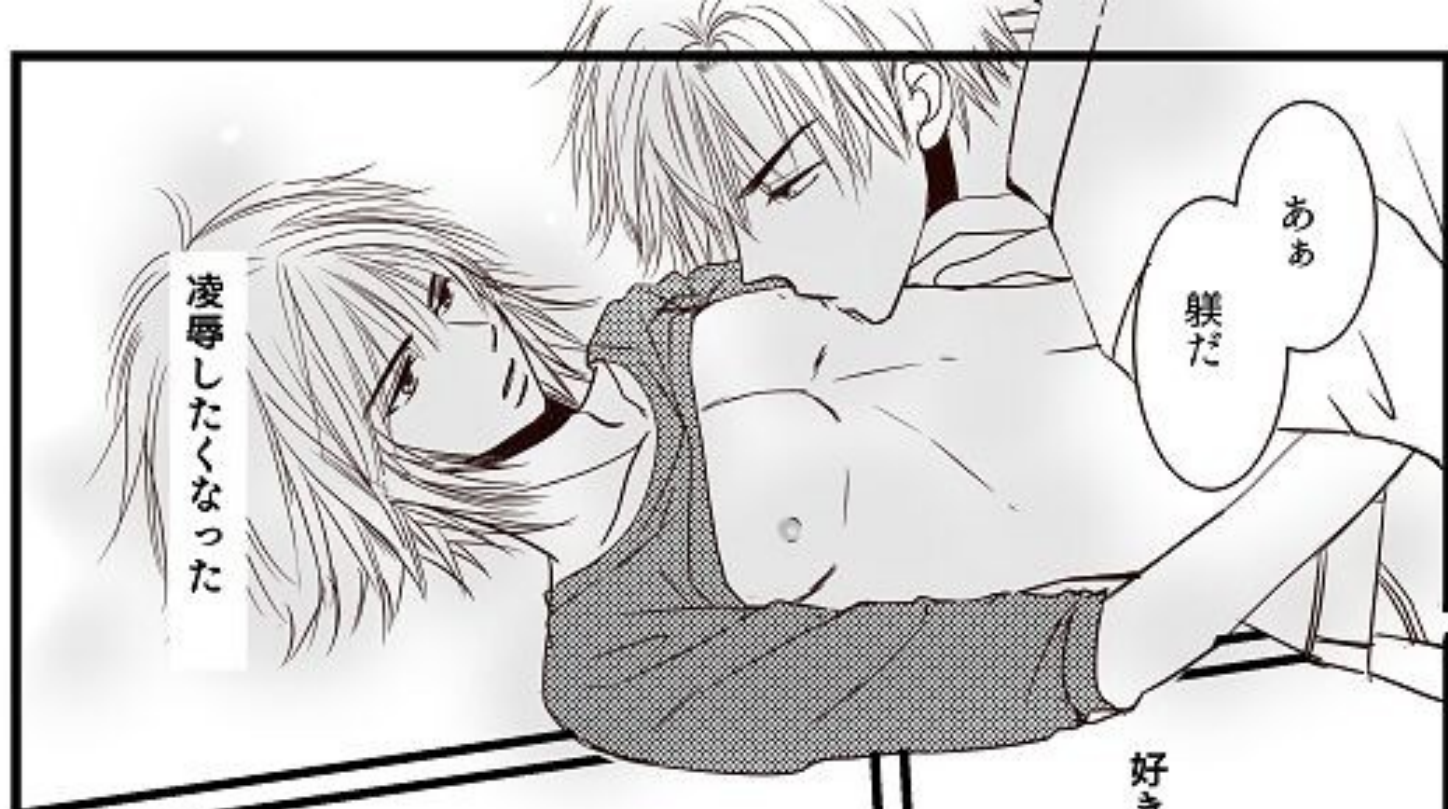
生意気で
こんな華奢なのに
つつぱって

こいつ見ると
・・・
すげえモヤモヤする

出来上がってねえ
オスガキ
じゃねえか







ああ

駄だ

凌辱したくなった

好きな子がいる？

こんな柔らかい
唇で淡々と
生意気
言いやがって

俺とオヤジが
引いてやったレール
完全無視かよ

大人びて
女みたいな
綺麗な容姿で
・・・



すぐに突っ込んで
自由はないと
啼かせてやりたくなった

でも組み敷くと
あまりにも
体は華奢で





お前は
ここに
いるんだよ

俺が
片腕に
なって
やる
って
いう
んだ



ありがた
迷惑か
も



逃が
すか

その
減らず
口
塞いで
やる

口では何と
言っている
けど
ひどく大事
に思えた



お前は
いづれこの家ごと
俺のものになるんだよ

だからこそ
こいつを
手に入れたくなった

う
いっ・・・痛っ！



力抜け……



これも
糞？

痛いんだけど
随分……



ああ

ガキを
服従させる
糞だ



ガキはガキらしく
大人の言うこと
聞いとけよ

不々

その日から俺は

欲望のままに
叶には初めての行為を
散々教え込んだ

叶は何をされても
恐怖の色もなく

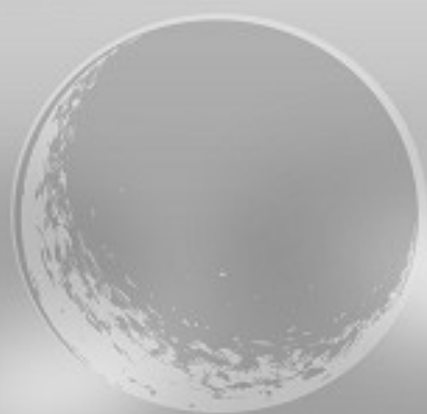
淡々と言われたことを
昼も夜も完璧にこなし

あいつの冷めた眼は
少しも色を変えなかった



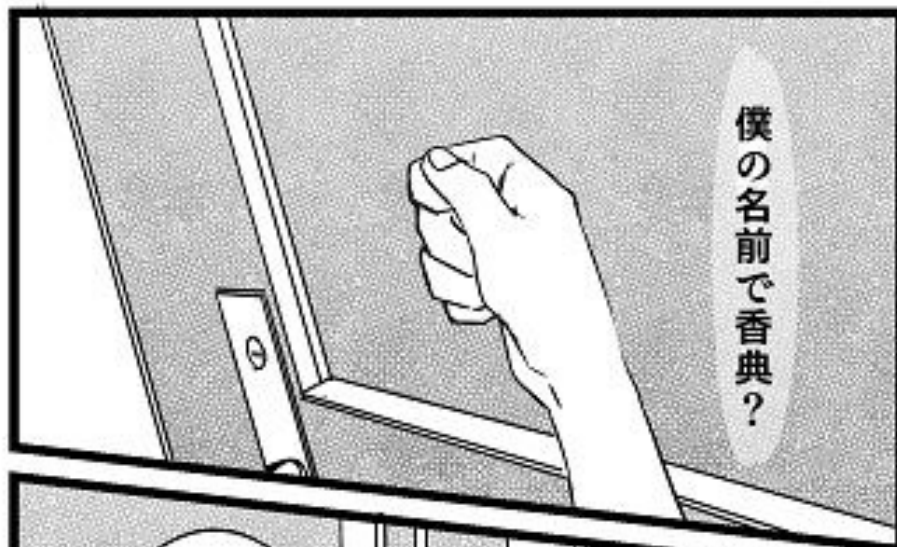
そんな葉が
初めて動揺を
見せたのは

葉がこの家に来て
一年が過ぎた頃だった



滝沢家





叶のことを
オヤジは
気に入ってる

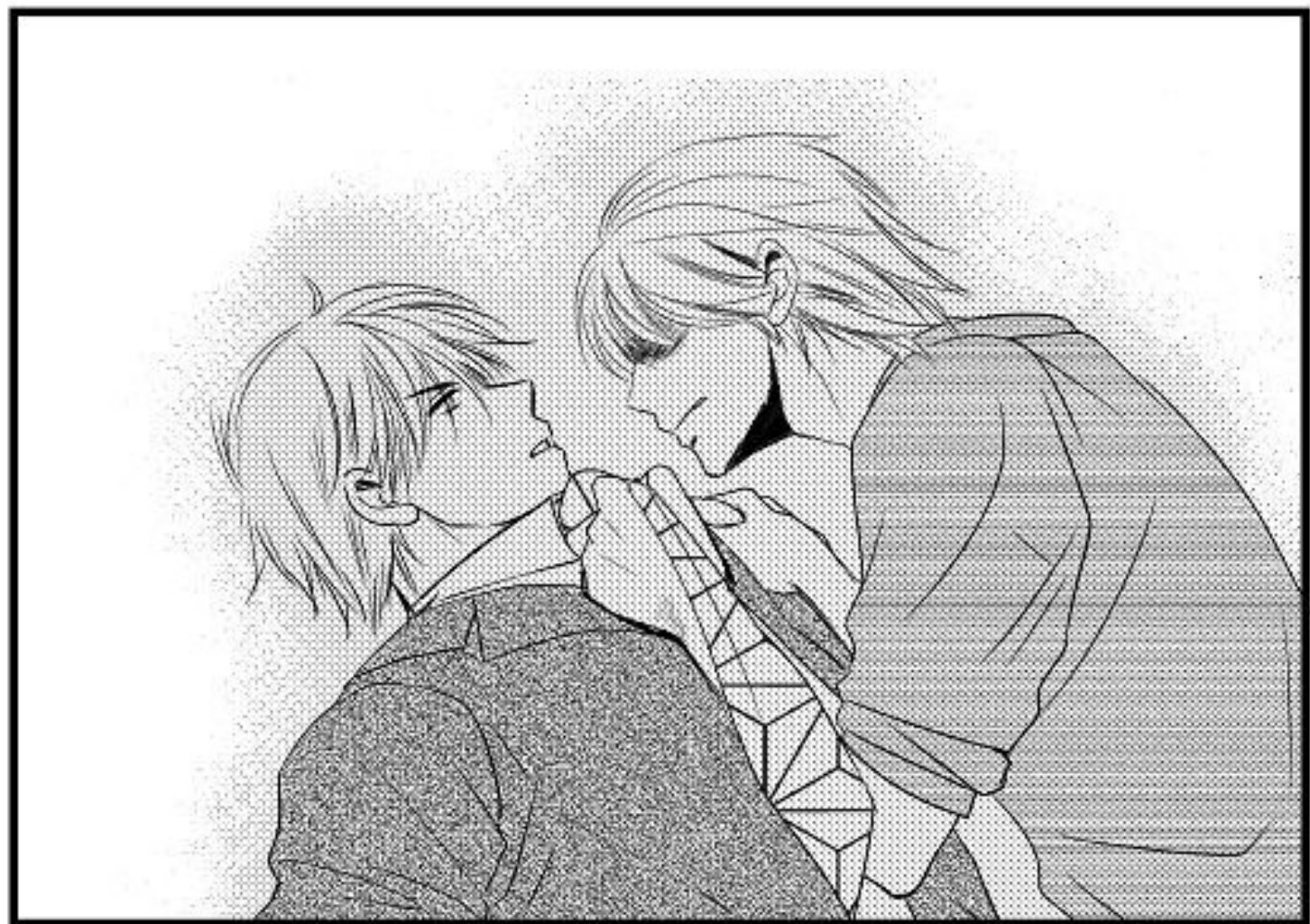
弟なんて
眼中ないから
施設行きだろうよ

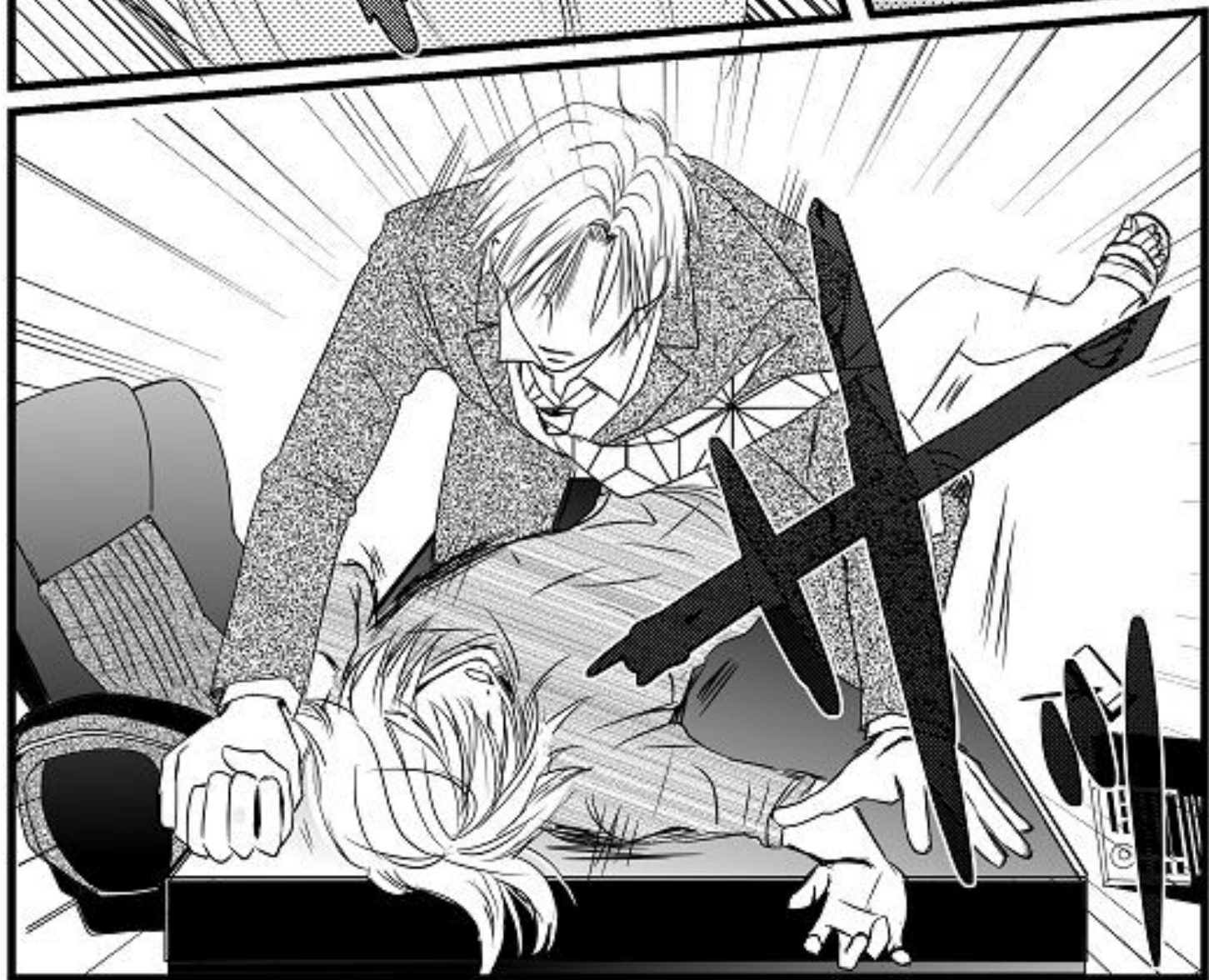
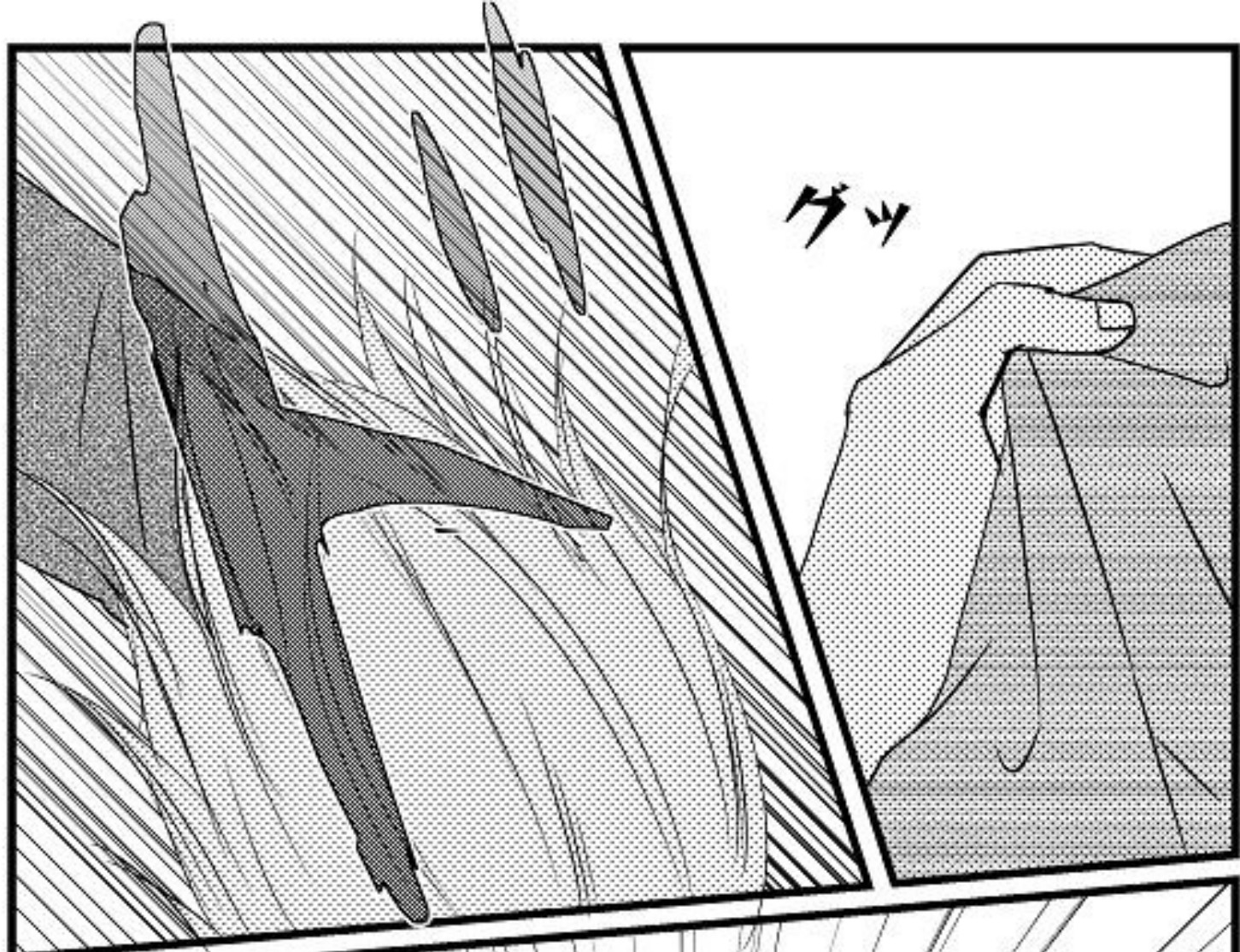
どういふこと？

叶……



どういふ事なのか
説明しろよ









お前の母親が
死んだのは

お前が
この家に
連れて来られて
すぐだ

お前と父親を
一気に失って
極度に衰弱したのに
治療を拒んだらしい



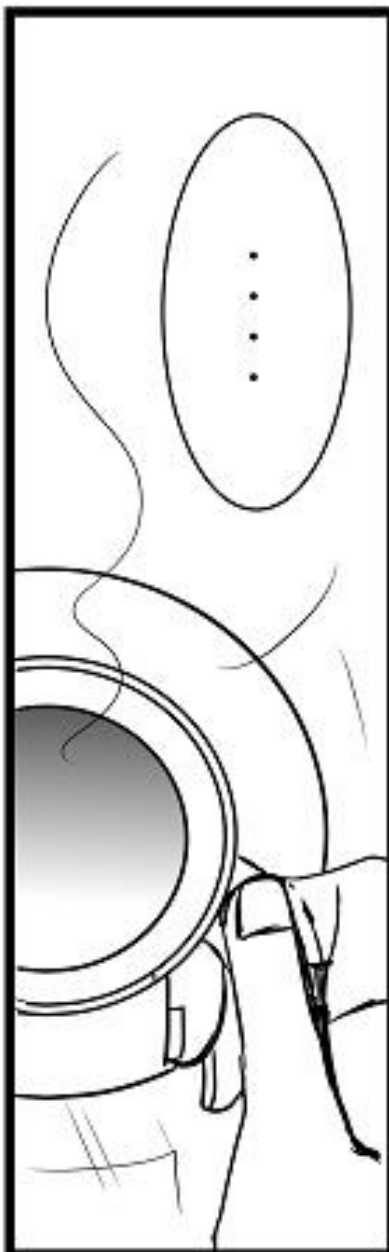
要の母親は
そんな姉を
献身的に看病し
最期を看取りし

葬儀も済ませ
一区切りついた頃
末期癌が発覚した

オヤジはお前らの
母親を憎んでいるから
お前に知らせなかった

鍋島の話は
お前の耳に入れるなと…







埋葬が終わって
落ち着いたら
施設・・・だろうな

まだチュウ坊だし
天涯孤独って
なりや・・・



ガキが二人で
どうするってんだ



天涯孤独じゃない
要には僕がいる

今すぐ
ここを出てく

カチヤ
カチヤ

僕が要を守る

お前が
下手に動くと
オヤジが動いて
要が売られちゃうぞ

お前が出ていくのは
俺だって許さねえ

ズル……

あんたなら
馬鹿ジジイを
説得できるんだろ？

じゃあ！

弟を連れてきて
お願いだ
何でも言うことを聞く



・・・全部
俺のものになるか？

・・・ああ

ボ
ッ
ッ
ッ

・・・でも頼むから
要だけは汚さないでくれ

体なんてとっくに
奪ってるくせに
心の自由まで
奪うのか・・・



逃げよ

ここで
抱いてやる

俺が欲しいって
言ってみろ



さこちゃん・・・



ごめんね

僕はもう
君に会えないかもしれない

来いよ

俺のもんなんだから
俺が慰めてやる



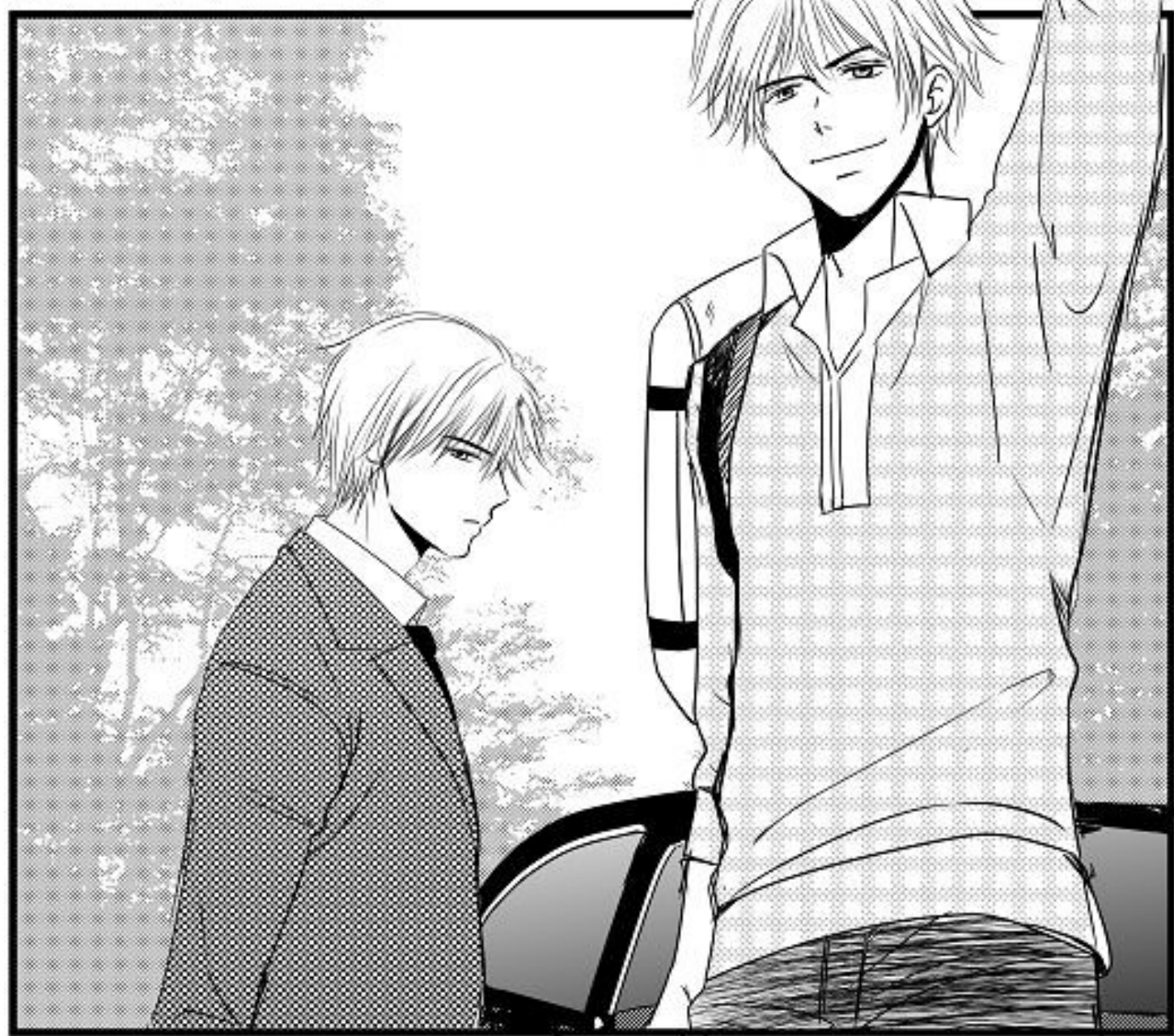
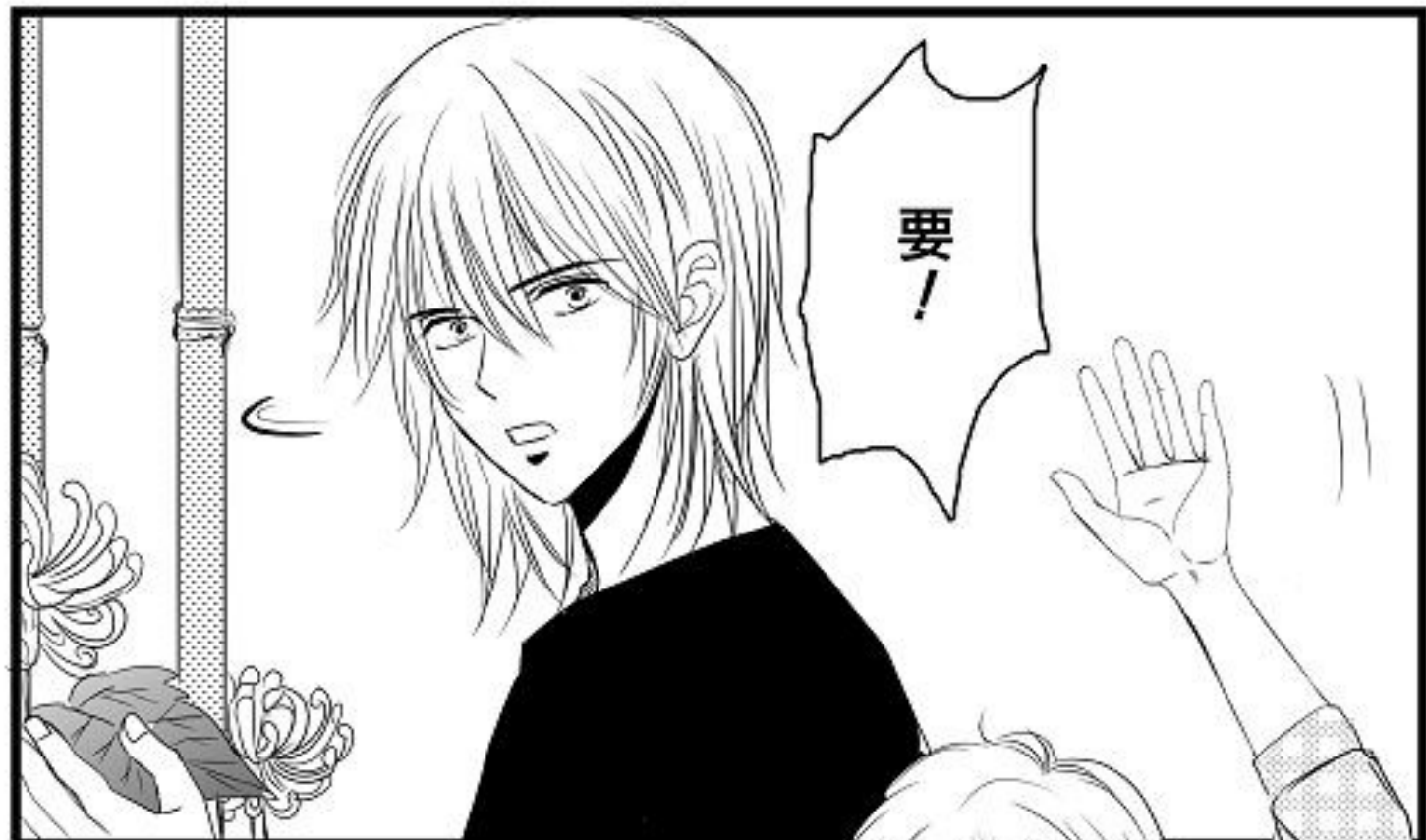


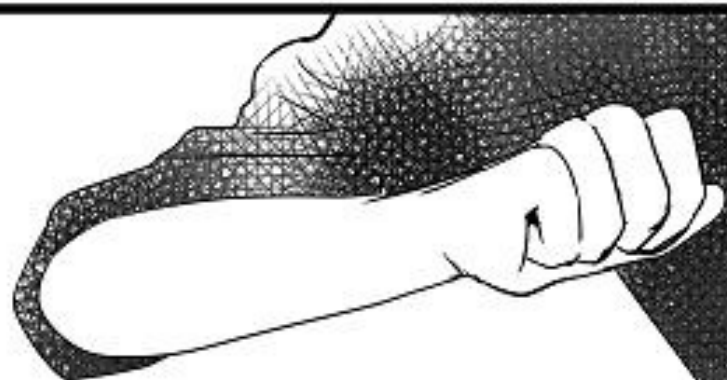
汚してるつもりは
ないんだけどな

お前を・・・









この日俺は
叶の本物の笑顔
初めて見た





続きます(。-`ω-)